

多賀町における ブドウ品種シャインマスカットの特産化

湖東農業普及指導センター

【普及活動のねらい・対象】

多賀町では米、そば、ニンジンに次ぐ新たな特産品が求められており、特に果樹の特産化への要望が高くなっています。その中でも認知度と消費者ニーズが高く、良食味で皮ごと食べられるブドウ品種「シャインマスカット」に着目し、水稻育苗ハウスや空きハウスの所有者を中心に栽培の推進を図りました。特に令和 5 年度は町内の直売市での販売を視野に入れ、役場やJA東びわこと連携しながら町内へのPR活動にも力を入れるよう働きかけました。

【普及活動の内容】

栽培管理のポイントとなる時期に技術研修会を 4 回開催するとともに、その後研修内容が身についているか、生育や栽培管理に問題がないかを確認するため月 4 回ほど巡回による現地指導を行いました。普及指導員が生産者に作業を直接見せることを基本とし、栽培に対する不安が少なくなるよう工夫しました。新規生産者に対しては、栽培管理についての指導巡回を植付け時期から月 1 回行い、しっかり苗木が育成されるよう現地指導を行いました。

また、生産者と町役場、JA、当センターによる意見交換の場を設けることで、どのような産地にしたいかなどを話し合い、特産化に向けて一丸となって活動が行えるよう促しました。



写真1 意見交換会の様子

【普及活動の成果】

活動の結果、多賀町内の直売市にて初出荷を行い、50 房とカップ 38 個をすべて売り切ることが出来ました。町内へ向けた販売を行うことで、シャインマスカットの特産化に向けた取組を町内へ周知するとともに、消費者の生の声を聞くことにより生産者の意欲向上へ繋げることが出来ました。また、生産者数を栽培開始当初の 5 名から 2 名増やすことが出来ました。

今後も関係機関、生産者と協力しながら特産化に向けた活動を行うとともに、新規生産者の確保、果実品質・収量の安定を目指した技術支援を行っていきます。

◎対象者の意見

収穫までこまめに巡回してくれ、何かあってもすぐ対応してくれるので大変助かった。今年はいよいよ町内にお披露目でき嬉しい。(部会長)